

子ども平和講座の様子



鎌田地区から届け！ 平和への祈り



旧制松本中学校(現・深志高校)生徒の勤労奉仕日誌や戦死した出陣学徒の所感資料をもとに、農業従事や満蒙開拓義勇軍、軍隊や特攻隊など、未成年の若者たちも巻き込んだ戦争中の出来事について、鈴岡先生からわかりやすく解説していただきました。

講義のあと、4つのグループに分かれて「戦争という言葉のイメージは?」「なぜ子どもが働

8月6日には昨年(2018)に続き「子ども平和講座」を開催し、小学校高学年の児童と市民ら25名が参加しました。講師は学都松本推進協議会会長で元教員の鈴岡潤一さん。

鎌田地区公民館では今年も8月15日までの1ヶ月、地域の皆さんや公民館利用者に千羽鶴を折っていただいたり、小学生が平和をテーマに書いた詩を公民館ロビーに展示するなど、戦争のない平和な世界を願う取り組みを行いました。

戦後74年の昨今、自国だけの繁栄を願う世界的風潮に不安が感じられる中での講座では、戦争の悲惨さを見つめ直しました。当たり前ではない「平和」への祈りを次世代へと語り継いでいきたいと思えました。

子どもたちからは「戦争は大勢の人が死ぬので怖い」「戦争には行かない」「昔の人は苦労して大変だった」「勉強ができないことは嫌」「今の時代に生きていることは幸せ」などと、率直な意見や感想の発表がありました。

かなくってはいけなかったのか?」等々の疑問について、皆で話し合いました。



松本市平和祈念式典で千羽鶴を献呈
大勢の皆さんに折っていただいた千羽鶴は、8月15日に4人の地元小学生が献呈しました。



小学生が書いた平和を祈る詩を展示
地元小学校6年生が書いた140篇の詩を公民館ロビーに初めて展示しました。

鎌田地区の歴史⑤

思い出を記録に残そう！ 古い写真のデジタル保存を始めます

写真の提供方法
写真は鎌田地

等々の写真です。
地区公民館が開館する以前、農村地帯だった両島の様子

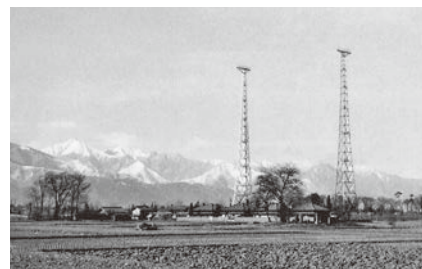
い発展
地区公民館が

・戦後3年間、笹部の土蔵を借りて活動していた「劇団たんぼぼ」

・昭和50年代以降、国道19号線沿いの著しい発展

こんな写真を探しています
戦前・戦中の暮らしぶりや戦後の鎌田地区の変遷、盛んだった子ども行事の様子などがわかる写真を探しています。例えば、

鎌田地区公民館では地区内の昔の様子や暮らしぶりがわかる写真などの歴史的資料を収集して、デジタル保存する取り組みを始めます。皆さんのお家にある古い写真は、今となっては撮ることができない懐かしい生活の記録であり、地域の文化遺産です。



笹部に建っていたNHKのアンテナ鉄塔2基(松本放送局の移転で昭和39年に解体)



鎌田小学校の旧校舎(昭和34年)現在の校舎は昭和46年に新築

区公民館へお持ちください。お寄せいただいた大切な写真は公民館でデジタル保存し、この公民館報への掲載やロビー展示、町会・学校の編集などで活用させていただきます。また、お預かりした写真等はデータとして保存させていただきます。詳しい提供方法は「公民館だより」10月号(回覧)をお読みください。

高宮町会

9月1日(日)実施

一時避難集合場所に避難して組毎に安否確認を行い、安全に避難できる避難路を確認しながら市の指定避難場所まで歩き、役員に情報伝達して訓練を終りました。



一時避難場所で安否確認

大災害に備えて
各町会で防災訓練

30年以内に13〜30%の確率で起こるとされている糸魚川―静岡構造線断層帯による大地震に備え、鎌田地区各町会では防災訓練が行われました。
住民の安否確認や情報伝達、避難誘導など日頃の備えの大切さを再確認すると共に、防災・減災意識の高揚を図りました。

夏休みの
思い出づくり



ディスクッター

8月12日(月・祝) 国営アルプスあづみの公園(大町松川地区)で鎌田地区子ども会育成会主催の日帰りキャンプが開催されました。

当日は親子42名が参加し、小枝を使ったクラフト体験やスイカ割り・バーベキューなどを楽しみました。



小枝を使ったクラフト体験

鎌田町会

9月8日(日)実施



子どもも参加した放水訓練



バーベキューの火おこし



スイカ割り

両島町会

9月8日(日)実施



初期消火を想定したバケツリレー

雑感

昨年8月から、実家の母が4ヶ月も入院し、要介護2の認定を受け退院した。普段は老夫婦だけで生活しているの

で、週末は私が高宮町公民館で介護の手伝いをする事になった▼当時の私は仕事をしながら町内公民館長を引き受けていたので、介護との両立が難しく、他の方に後任をお願いできないか悩んだが、たまたま組長の中で引き受けてくださる方がいたので後を任せることができた▼13年間の公民館長活動の中で、本当にいろいろな人のお世話になり、支えていただいたと感謝の気持ちでいっぱいだ。少し心残りなのは、公民館活動の中で介護のことも勉強しておけばよかったと反省している。今ようやく「地域包括ケアシステム」の仕組みがわかってきたが、もう少し介護する側にもケアがあっても良いのではないかと思っている▼公民館長を長くやっているのと「よくやるね」「大変でしょう」と言われたが、不思議と苦労とは思わなかったし、楽しい思い出が浮かばない。この13年の経験を糧にこれからも頑張りたい。

(小林 嘉美)